

# THE RECORD

**CD25周年**

25周年を迎えたCDの軌跡

**2007年度**

**CDレンタル店実態調査**

社団法人 日本レコード協会



## 川の流れるように

日本クラウン株式会社  
代表取締役社長 西野茂詔



休日に隅田川河畔を散歩するのが習慣となった。住んでいる佃界隈は「雪ふれば佃は古き江戸の島」(北条秀司)の句のように懐かしさを感じさせる佇まいがある。高層ビルとの共存は今と昔が同居していて、心なごむ空間でもある。私はこの「川」があるこの「町」が好きである。ゆったりと流れる「大川」を見ていると、いつも心の中をこの旋律が流れてくる。「川の流れるように」、ひばりさんが病床からたちあがり、歌われた曲。私にとって忘れることのできない曲である。私は熱烈な「ひばりファン」であった。小学生のころ、小遣いをためてはじめて買ったレコードがひばりさんの「怒涛の男」(映画「力道山物語」の主題歌)であった。彼女の映画はほとんど観た。それは映画好きの伯母のおかげでもあったのだが。私は同じレコード会社に入ることが夢であった。昭和40年8月の暑い日、内定の通知を受けとったときの興奮を今でも鮮明におぼえている。親のすすめる「銀行」を断り、わがままを通させてもらい上京した。社会人としてのスタートであった。この「大川」とこの「曲」は41年前の自分を想いおこさせてくれる。「知らず知らず歩いて来た、細く長いこの道、振り返れば遥か遠く故郷が見える、でこぼこ道や、曲がりくねった道、地図さえない、それもまた人生、ああ川の流れるように、ゆるやかに、……」(「川の流れるように」から)※

この業界に身をおいて40数年間、業界もさまざまな流れを経験した。私自身、この「大川」のようにゆったりと、堂々の流れではけっしてなかった。でも感謝の気持ちは日々強くなっている。今、思うことは、もう少し、夢を追って、感動する曲づくりに仲間とともにかかわってゆきたい。川の流れるように……。

※JASRAC 出 0713031-701

## Contents

Special Feature	
CD25周年 25周年を迎えたCDの軌跡 .....	2
当協会寄付講座、早稲田大学「コンテンツ・ビジネスと著作権」 4年間の講座を振り返って .....	6
2007年度CDレンタル店実態調査 .....	7
「ミュージック・ギフトカード」20年目を迎える .....	9
INFORMATION SQUARE .....	10
Monthly Production Report .....	13
Gold Album+...認定 .....	14

CD25周年



# 25周年を迎えた CDの軌跡



世界初のCD発売記念碑

今から遡ること四半世紀の1982年10月、世界で初めてのデジタルメディアである音楽CD (CD-DA) が日本でハード、ソフト両方で一斉発売されました。以降レコード産業は、このCDという新しいメディアの浸透により大きな発展を遂げることとなります。CDは、音楽の大衆化に寄与し、コンテンツのデジタル化の先駆けともなりました。25周年を機に、CDが音楽産業や社会にもたらしたインパクトについて考えます。



1982年に発売されたCDプレーヤー第1号機「GDP-101」

# 想像を超えた飛躍的成長に、感慨深く



(株)ソニー・ミュージックマニュファクチャリング  
取締役 岡部 篤

(株)ソニー・ミュージックマニュファクチャリングの岡部篤氏は、25年前、生産技術の担当者として、初のCD製品を工場から送り出した現場に立ち会いました。当時の状況を振り返りながら、製造者の立場から見た25周年を語っていただきました。

## —CD25周年についてのご感想は？

今振り返りますと、本当にあっという間でしたね。私は当時、工場でCD量産技術の確立と改善に携わっていました。とにかくこの次世代メディアを早く世の中に出そうという使命感が、経営のトップから現場まであり、私自身、無我夢中で働いていました。そのころは正直なところ、音楽CDの市場がこれだけ成長するとは思っていませんでした。当時LP全盛の時代で、それが別のメディアにとって変わるなど想像できなかったのです。転機は廉価なポータブルCDプレーヤー、D-50モデルが出た1984年ごろでしょうか。そこからは、あれよあれよという感じで、気がついたらものすごく大きなビジネスに成長していました。



「D-50」

## —CD発売当時の経緯は？

1980年頃からCD開発に取り組むようになりました。設備や原材料の検討、検査装置をどうするのかなど、ソニー(株)とも協力しながら、試行錯誤を繰り返して開発していきました。1982年の10月に発売ですが、4月くらいにはすでに量産に着手していました。夜勤を含む3交代制を5月から採用して、いよいよ本格的な生産体制となり、発売ターゲットとした10月を迎えました。私も現場にずっと張り付いて、夜勤などもこなしていましたね。

## —CDの開発・製造で、苦労した点や印象的な出来事は？

1984年から順次、海外工場を立ち上げていきましたが、そこから量産化技術が磨かれ、本当の意味での確かな技術が確立していきました。日本で製造を開始して、海外に工場を立ち上げ、一方では改善へ向けた実験を行う…多忙な日々が続きました。まだインターネットもメールもない時代で、海外とのやり取りは、すべてファックスでした。これは大変な負担で、技術陣の苦労は並大抵のものではありませんでした。製造技術も例外ではなく、私もなかなか家に帰れないほどでした。

## —CDの技術に初めて接した印象は？

それまでのアナログとはまったく違いますから、製造に携わる全員が、気持ちを切り替えるのに苦労しました。精密さ、工程の多さ、形状の違い…あらゆる面で新しい発想でやらなければなりません。想像もできない未知への挑戦で、最初は相当な戸惑いがありました。

## —実際のCD製造技術の要点は？



工場内

アナログと製造面で大きく違うのは、素材と工程の多さ、それとクリーンな環境を必要とする精密さといったところでしょう。素材ではポリカーボネイト(ポリカ)を採用していますが、普通のポリカだと光特性が悪く、音声メディアに適さないのです。光特性を満足させるポリカが開発され、さらにそれをうまく成形する射出圧縮成形方式という技術の確立に至って、量産への道が開かれていきました。一般に普及し始めてからは、クリーンな環境を閉じたシステムで提供するインラインという一貫生産の仕組みができて、さらに量産化技術が洗練され、その後の光ディスク産業の発展を牽引する力となりました。

## —ディスク製造者の立場から見たCDの果たした役割とは？

音楽産業へもたらしたインパクトは周知の通りですが、製造や開発に携わった周辺産業を含む、産業界全体に与えた波及効果も大変大きかったと思います。光ディスク産業というカテゴリーが生まれ、育っていった一つの大きな成功物語のきっかけになったわけですから。感慨深いものがあります。



# CDが拓いた「デジタル化」の道



(社)日本レコード協会  
情報・技術部部长 北村幸市

当協会、情報・技術部の北村幸市部長は、CDの技術がレコード産業にもたらしたインパクトなどについて、次のようにコメントしています。

CDは、コンテンツ・ビジネスにおけるアナログからデジタルへの移行という、大きな技術的飛躍の先駆けとなったメディアです。さまざまな技術革新も伴って、レコード産業はCDの出現をターニングポイントに、劇的な伸長を経験しました。全世界を巻き込んで、市場は爆発的に拡大しました。

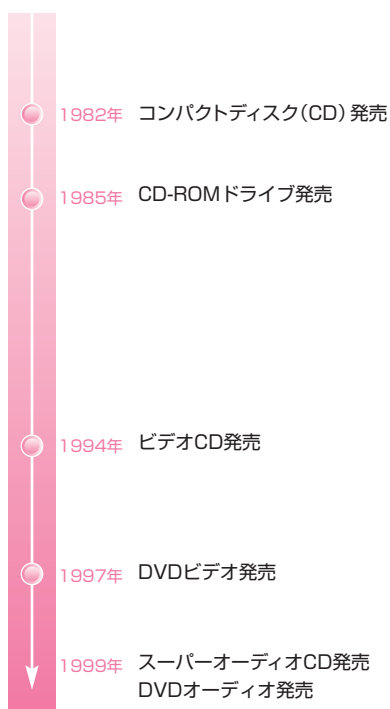
アナログ・レコードは、以前からぜいたく品と位置づけられ、CDが登場した当時もその流れは続いていました。しかしCDは、低価格プレーヤーの発売を機に、文字通りの「コンパクトさ」や「取り扱いやすい」「雑音がない」といった利点がユーザーに大いに受けて、瞬くうちに普及しました。またアナログと比べて音が良いという風聞なども市場拡大を後押ししました。そして「一家に一台」のレコード・プレーヤーは、「一人一台」のCDプレーヤーに移行し、音楽を個人で楽しむスタイルの確立に大きく貢献していきます。特に若い世代への普及は、目を見張るものがありました。

デジタル化は、音楽の作り手側にも大きな影響をもたらしました。収録にシンセサイザーなどの電子機器が導入され、コンピュータ化による編集作業の著しい省力化などにより、誰でもスタジオ・ワークができるようになり、新しい音づくりも容易になりました。いわば個人レベルで世の中に楽曲を出せる環境が整えられたのです。しかし一方で、オーバーレベル時の極端な歪みを嫌った当初の低めのレベル設定が原因で、皮肉にもその後、むやみに音の迫力を追求するレベル競争に陥るなど、賛否の分かれる事態も招きました。

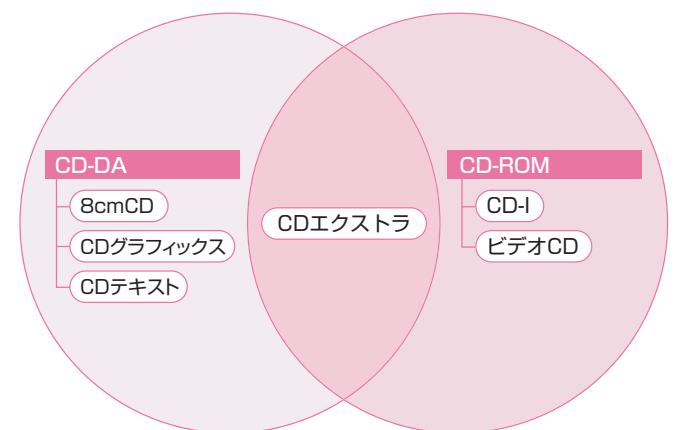
また、音楽の生データをそのまま記録しているため、データのセキュリティはまったく考慮されておらず、違法コピー問題という大きな爆弾を抱え込んでしまいました。これは当時の環境では全く問題視されなかった点ですが、その後の技術革新のスピードに法律や秩序がなかなか追いつけなかったという状況もあって、現在、レコード業界にとって深刻な問題と化しています。

CDは、音楽を含むコンテンツのデジタル化への道を拓き、その後に光ディスク・メディアが発展するきっかけとなりました。CD誕生から25年が経ち、新たな技術的進展の芽も見られます。データ・セキュリティの問題については、著作権意識の向上や法整備などのアプローチとともに、これからの光ディスク・メディア全体の発展プロセスのなかで、将来に禍根を残さぬよう技術的な部分を考察していかなければならないと思います。

- 規格書
- Red Book (CD-DA)
- Yellow Book (CD-ROM)
- Green Book (CD-I)
- Orange Book (CD-R)
- White Book (ビデオCD)
- Blue Book (CDエクストラ)
- Scarlet Book (SA-CD)



## CDファミリー



## 0.6°の決断



ピフステック(株)  
取締役会長 中島平太郎

ピフステック(株)取締役会長兼CDs21ソリューションズ会長の中島平太郎氏も、当時ソニー(株)において、CDの立ち上げに参加されました。「何も手本がない状態でCDを制作しなければならない」という当時の困難な開発経緯を振り返り、特に印象に残っている事柄について、寄稿していただきました。

CDプレーヤを安定に動作させるには、ディスクに刻まれたオーディオ信号をレーザーピックアップで正しく読み取ることが必要です。そのためにはディスクのそりとピックアップ光軸のぶれを合わせて1.2°以内におさめなければならないのが実験の結果から分かっていました。1.2°の許容値をそりとぶれにどう割り振るかが問題で、それによってディスクやピックアップ部品の製造歩止りや商品のコストが左右されることとなります。

これが従来のテレコやレコードですとテープとヘッド、レコードと針とは常に接触して信号を授受しています。接触しているため、針がすり減るとか盤がいたむなど、いやらしいことばかりですが、製造する上ではそりとぶれの両者をはっきりした数値で配分しなくても、お互いに折り合い、融通し合って処理することが出来ました。しかし、CDの場合はディスクとピックアップとは非接触で、サーボをかけて両者の位置をきめていますので、そういう融通は利きません。数値的にはっきり決めてそれぞれの部品の開発をすすめる必要がありますが、これが結構な難題です。両部品とも初めて手掛ける部品であり、両者生まれも育ちも違うので勝手が違います。少し開発の目処が立ってから決めてもと、ずるずる引き延ばしている中に月日は容赦なく過ぎて決断が急がれました。切羽詰まって無謀にも両者半分ずつ—そりに0.6°、ぶれにも0.6°—と決めて走り出しました。

私は3日にあけず両部門に足を運び、進行状況を見守り続けました。いろいろな不具合に出くわす度に0.6°の配分で良かったかどうか思い悩み胸を痛めました。しかし、そう決めた目標に向け、技術者達が自分の専門分野を超え、力を合わせて全力投球してくれました。あの時ほど働いたのは後にも先にも無かった—数人の技術者はつくづく当時を述懐していました。その熱意が実ってそれに天祐が加わって、何とはなしにすべてが良い方向に廻り始めました。あとはまっしぐらに商品発売のターゲットデート(1982年10月)に向けて一気に進めることが出来ました。

CDシステムは非接触のメリットを活かして高い信頼性と抜群の操作性が得られ、マーケットに定着しました。省みて無謀にも0.6°の決断に冷や汗を流したことも、25年経った現在、この数値を忘れてもCDが作れるレベルになったことも全く夢のようです。

中島 平太郎(なかじま へいたろう)

1921年、福岡県久留米市に生まれる。44年に東京工業大学電気工学科卒業後、九州大学大学院特別研究生として音響学を学んだ。日本放送協会、ソニー(株)、アイワ(株)と経て、89年、(株)スタート・ラボを設立。93年にCD開発の功績により紫綬褒章を受章する。現在は、ピフステック(株)取締役会長兼CDs21ソリューションズ会長。

# 当協会寄付講座、早稲田大学「コンテンツ・ビジネスと著作権」 4年間の講座を振り返って

当協会は平成16年度より4年にわたり、早稲田大学において、寄付講座「コンテンツ・ビジネスと著作権」を設置しました。前半の2年間は通年でコンテンツ・ビジネス全般を、その後の2年間は半期で音楽ビジネスに焦点を絞り、同大学法務研究科の鎌田薫、高林龍 両教授他の先生方をコーディネーターとして、毎回第一線で活躍される方々を講師にお招きしたオムニバス形式で授業を展開しました。

本講座は全学年全学部を対象とする授業で、毎年定員(平成16・17年度は400名、平成18・19年度は300名)を大きく上回る学生が履修を希望するなど人気の高い講座となりました。当初3年で講座を終了する予定でしたが、受講できなかった学生が多かったことから1年延長し、4年間で合計約1,400名の学生が履修しました。

下記のグラフは4年間の学部ごとの履修者の割合を表しています。いずれの年も法学部がトップを占めていますが、その割合は少しずつ減少し、他の学部からの履修者が増加しました。このことは本講座が学部を超えて多くの学生の興味を引く講座になっていったことの表れであるといえます。

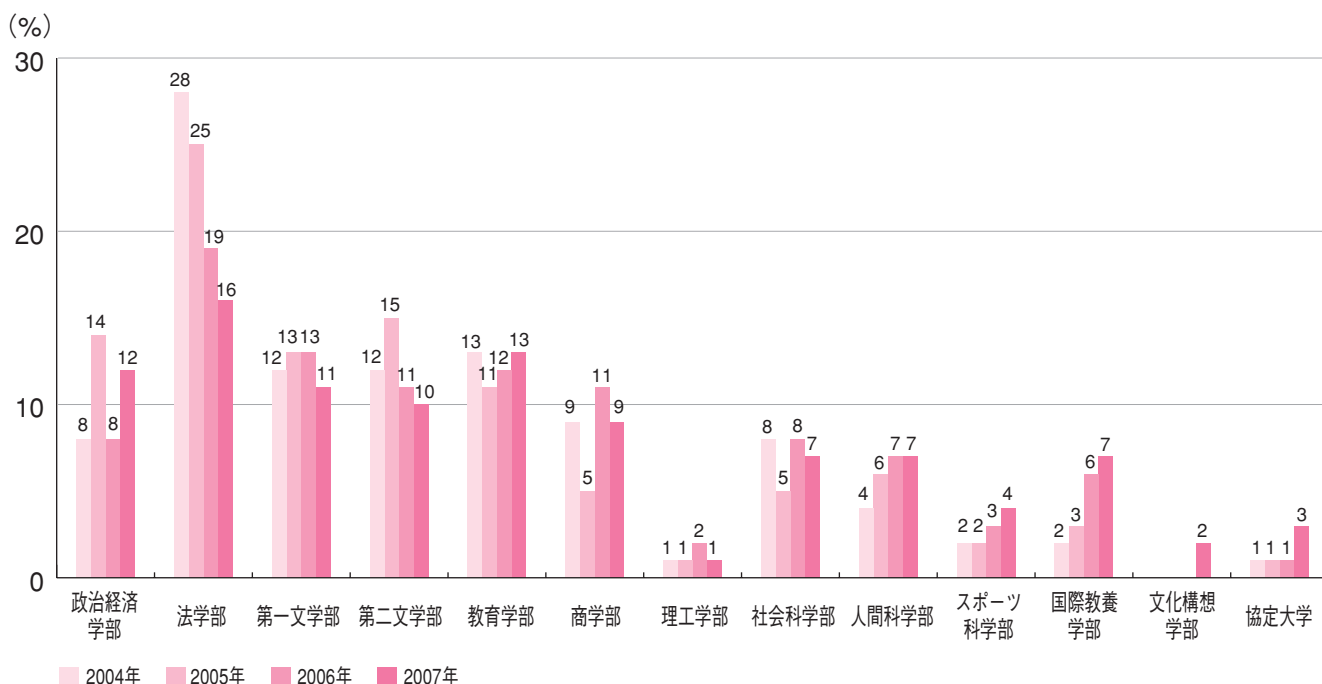
また、キャンパスが異なる第一・第二文学部と文化構想学部(戸山)、理工学部(大久保)、人間科学部とスポーツ科学部(所沢)の学生も一定数の履修者があったことも特徴のひとつ

です。特に昨年度と今年度は所沢キャンパスからの履修者の割合が10人に1人以上となり、本講座への学生たちの熱意が汲み取れます。この他にも、学生が他大学で履修した授業の単位を正式な単位として認め合う「協定大学システム」を利用して、他大学の学生も毎年本講座を履修しています。

一方、レコード会社や音楽団体のみならず、放送局の関係者からも「本講座を履修した学生が入社試験を受験した、或いは入社した」との声も届けられています。これに関連して、卒業後の進路などについて、履修生にインタビューをしたことがあります。その中で、「音楽を創造したい」、「コンテンツ・ビジネスに関わりたい」など、コンテンツ・ビジネスへの直接的な関りを求める学生や、「アジアとの友好に関わるのが希望だが、コンテンツ・ビジネスはポテンシャルがある」、「コンテンツ・ビジネスには直接関わらないと思うがこの講座で得た著作権の知識は役立つ」などのさまざまな感想がありました。自身の将来を見据えながら、「コンテンツ・ビジネス」を多角的にとらえ、学習に取り組む姿が印象的でした。

最後になりましたが、多年度に渡りご多忙にもかかわらず、本講座の講師をお引き受けいただいた皆さまに、この場を借りて心より御礼を申し上げます。

## ■ 学部別履修者数推移



# 2007年度CDレンタル店実態調査

当協会では、全国のCDレンタル店の実態調査を、毎年当協会調査員による訪店調査により実施しています。24回目となる今年は従来の全店調査方式から、地域・規模・業態を勘案したサンプル調査方式に変更し、4月から6月の3か月間で全体の約5割にあたる1,632店の訪店調査を行いました。

## 2007年の特徴

### 1. 店舗の大型化(図-1)

店舗全体(他の売場を含む)の面積(前年比3.2%増)、CDレンタルコーナー(同3.8%増)、DVDとビデオレンタルコーナー(同2.1%増)、新品・中古CD販売、書籍、ゲームソフトの販売などその他コーナー(同3.7%増)と、すべての項目について大型化が進んでいます。

### 2. レンタル用CD在庫の拡大(図-2)

レンタル用CD在庫はアルバムの増加が続き、昨年半数を超えたCD在庫1万枚以上の店舗が今年は6割を占めています。総在庫数のシングル・アルバム比は昨年の15対85から13対87になりました。

### ● 店舗数2.8%減少

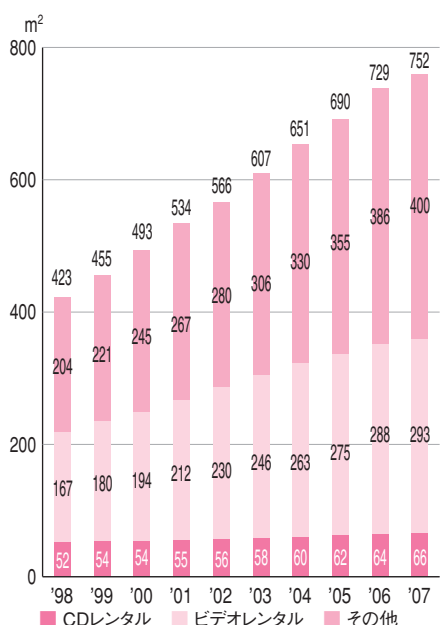
CDレンタル店舗数は1989年末の6,213店をピークに毎年減少を続け、2007年6月末現在で3,113店と前年比2.8%減、1989年対比で50%減となりました。

また、今年1月から6月までの間に、新規開業店は103店、閉店は169店と、272店が入れ替わっています。(図-3)

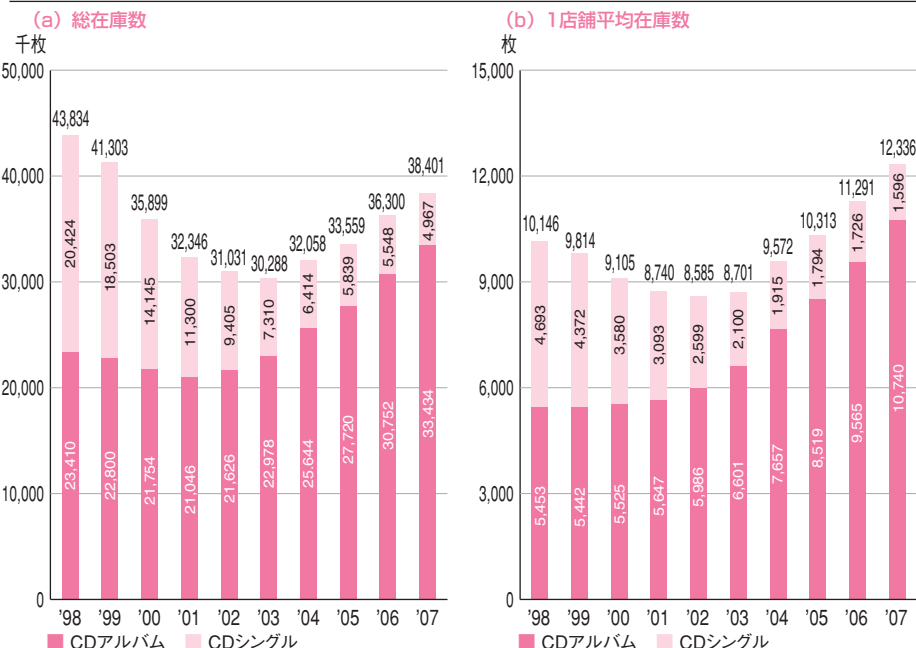
### ● CDレンタル店の兼業状況

兼業の状況(複数回答による集計)は昨年とほぼ同じですが、書籍レンタルが増加しています。兼業状況の内訳を見ると、中古CD販売97.6%(前年97.9%)、中古CD買取店32.0%(同31.2%)、書籍販売54.3%(同52.0%)、ゲームソフト販売47.5%(同48.4%)、コミックを含む書籍レンタルは11.6%(同7.9%)となっています。

■ 図-1：店舗面積(1店舗平均)



■ 図-2：CD在庫状況





一方、CDレンタル専門店は全体の0.3%(同0.3%)、AVレンタル店(CDとビデオ・DVDのレンタルのみ)も全体の19.0%(同20.0%)とこちらも昨年並みです。

昨年兼業率・在庫ともにDVDがビデオテープを逆転した映像レンタルについて、今年はDVD対ビデオの在庫比率が7対3となり、在庫のDVD化が加速しています。(表-1)。

### ● CDレンタル店の在庫

ここ数年の傾向として、レンタル用CDの在庫数はシングルが減少、アルバムが増加し、全体は増加が続いています(前年比5.8%増)。

内訳を見ると、シングルは4,967千枚で前年比10.5%減となっていますが、アルバムは33,434千枚と8.7%増です。(図-3(a))

また、1店舗当りの平均在庫数で見ると、シングルは1,596枚と前年比7.5%減ですが、アルバムは10,740枚と12.3%増となり、シングル・アルバムの合計在庫数は12,336枚で9.3%増となっています。(図-3(b))

なお、CDの在庫規模による店舗数分布を見ると、小型店(4千枚未満)は前年比0.8ポイント減の4.4%、中型店(在庫数4千枚～1万枚未満)は6.4ポイント減

の35.9%、大型店(1万枚～1万5千枚)は0.1ポイント減の31.4%、超大型店(1万5千枚以上)は7.3ポイント増の28.3%となり、在庫1万枚以上の店舗が6割を占めています。(図-3(c))

ビデオレンタル兼業店のビデオテープの在庫数は、1店当たり平均7,584本(前年比42.7%減)と大幅に減少しました。

一方、DVDレンタル兼業店のDVD在庫数は、1店当たり平均19,766枚(前年比46.3%増)となり、ビデオテープとDVDの入れ替えが進んでいます。

### まとめ

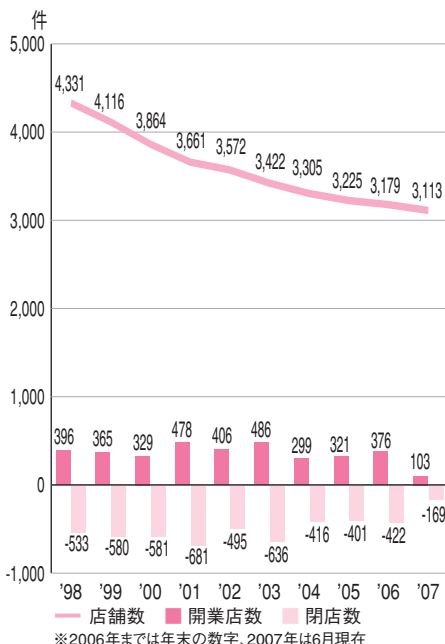
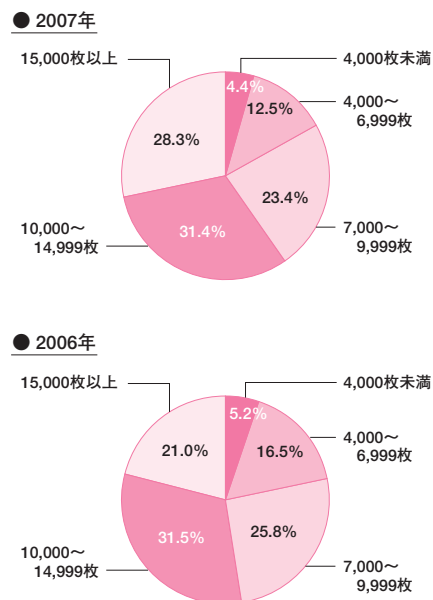
営業店数の減少は落ち着きつつある一方、新規店舗の大型複合化は続いています。CDはアルバム、映像はDVDの在庫を重点的に拡充し、店舗在庫の拡大がさらに進んでいます。

CDとビデオDVDレンタルを中心とした複合店舗の業態が定着し、CDレンタル業は音楽配信等の影響を受けず安定した市場を維持していると言えます。

■ 図-3：CDレンタル店数と開業・閉店の推移

■ 表-1：ビデオ・DVD兼業状況と比率

(c) CD在庫規模別の店舗数分布状況



	兼業率		在庫比率
	ビデオテープ	DVD	ビデオ:DVD
2007年	98.4%	99.6%	28:72
2006年	99.1%	99.4%	49:51

## 調査票提出促進運動について

経済産業省経済産業政策局調査統計部

経済産業省調査統計部が実施する各種統計調査につきましては、平素よりご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

皆さまより提出された調査票は、当部において集計し、加工、分析のうえ公表され、国・地方公共団体の行政施策の基礎資料、商工業における企業経営資料として、さらには諸研究のための貴重なデータとして広く利用されております。また、社会経済の急激な変化や国民生活の多様化などに伴い、経済活動の現状を正しく見極める指標として、統計の果たす役割は一層重要性を増しております。

しかしながら、調査を取り巻く環境の悪化により、調査票の未提出、提出期日遅延、記入漏れ等の増加により、調査の使命である信頼性の高い調査結果を早期に公表するということが困難な状況にあります。

このため、経済産業省では、調査環境の変化に対応した調査内容の見直し等により報告者の記入者負担の軽減に常々努めるとともに、調査対象企業・事業所のご理解とご協力を得つつ、調査を円滑に実施するため、各事業団体等加盟の調査対象企業・事業所のうち調査票の未提出等の事業所に対して改めて調査票提出の依頼を行う「調査票提出促進運動」を、毎年「統計の日」(10月18日)を中心として実施しております。

調査を取り巻く環境が悪化する中、より精度の高い統計を作成するためには、皆さまのご協力により正確な調査票を所定の期日までに提出していただくことが何にも増して重要であります。

引き続き皆さまのご理解を賜り、調査票の提出にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、生産動態統計、商業動態統計および特定サービス産業動態統計では、平成12年よりインターネットを利用したオンラインでの調査票の提出をいただいております。また、企業活動基本調査においても平成16年より、記入者負担の軽減を図るためインターネットを利用したオンライン調査票提出を導入しておりますのでご利用賜るようお願い申し上げます。

(注)オンライン調査については、経済産業省のホームページ(<http://www.meti.go.jp>)で紹介しておりますので、ぜひ御覧くださいようお願い申し上げます。

## 「ミュージック・ギフトカード」20年目を迎える

(株)ジャパン・ミュージック・ギフトカード(jmg)は全国共通で使用できるレコード業界唯一の商品券「ミュージック・ギフトカード」の発行・普及を始めてから、本年10月で満20周年を迎えました。

jmgは、これまでレコード販売店を中心にパーソナルギフトとして最適な紙幣タイプの「レギュラー券」、企業の販売促進用途としてデザイン自由なカードタイプ「オーダーメイド・ギフトカード」など、商品ラインナップの充実を図り、さまざまなギフトシーンでの提案、インセンティブ需要の掘り起こしを行ってきました。

本年7月には、新たな事業取り組みへのスタートとして、稲垣会長(エイベックス・マーケティング(株)代表取締役会長)、齋藤社長(前jmg専務取締役)の就任を機に、レコード会社をはじめとした業界への働きかけの一つとして、avexグループ協力のもと、mu-moショップでの「ミリオン・アーティストカード」のweb販売、また、7月28日に宮城県名取スポーツパークで開催されたa-nation07のイベントブース・CD即売会場でのPR活動等、同イベント全国7カ所の公演においてデモンストレーションを実施しました。

今後もjmgでは、「音楽・アーティストのファンへダイレクトなアプローチを」をテーマに、業界各社と協調しながら、新たな販路開拓を進め、音楽産業の発展に寄与していきます。



宮城県名取スポーツパーク「a-nation07」でのイベントの様様

## 携帯電話向け違法音楽配信の被疑者逮捕

9月5日、山口県警察本部生活安全部および岩国警察署は、携帯電話向けのレンタル掲示板サービスを利用して、権利者に無断で音楽ファイルを送信可能な状態にしていた埼玉県さいたま市在住35歳の男性を、著作権法における著作隣接権侵害にあたるとして逮捕しました。

被疑者は、5月14日に同法違反で逮捕され、7月26日に山口地裁岩国支部から有罪判決を受けた25歳の男性が開設していたレンタル掲示板を利用して、当協会会員社であるエイベックス・エンタテインメント(株)所属アーティストの楽曲を、無許諾でアップロードしていたものです。

なお、岩国警察署は、本年7月に同じレンタル掲示板を利用して違法に音楽ファイルをアップロードしていた2名の被疑者を逮捕しています。

## 第4回RIAJセミナー開催 「レコード会社の音源アーカイブの現状について」

9月14日、東京都港区のT's PLAZA 246において、当協会は「レコード会社の音源アーカイブの現状について」をテーマに第4回RIAJセミナーを開催しました。

当日は、コロムビアミュージックエンタテインメント(株)知財戦略本部アーカイビング部の斉藤徹部長、ビクターエンタテインメント(株)ビクタースタジオオーサリンググループの奥原秀明グループ長、(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ制作技術本部の渡辺隆志本部長から、各社の音源アーカイブの現状について、システム構成や運用例などの具体的なプレゼンテーションが行われました。また、現在各社が抱えている問題点についても語られ、今後の大きな指針となるセミナーになりました。

## IFPI統計調査会議開催

9月5、6日、ロンドンにおいて、IFPI統計調査会議が開催されました。この会議はIFPIが公表している統計に関する課題について意見交換を行うもので、IFPI本部、各支部、ナショナル・グループ(各国・地域のレコード協会等の団体)、メジャー各社より統計担当者が参加し、年1回開催されています。当協会からは、業務部の須貝課長補佐と渡部係長が参加しました。

各支部、ナショナル・グループからは、それぞれの市場概況、課題、取り組みについてプレゼンテーションが行われ、

日本からは、市場概況、デジタル動向、違法モバイル調査結果、啓発運動内容について報告を行いました。各市場、規模の差はあるものの海賊被害が業界の大きな阻害要因となっていました。

IFPIからは、海賊盤対策、若年層向け調査、統計項目見直し内容などについての報告が行われました。なお、IFPIが公表している2007年上期の世界売上によると、主要国のなか、イタリア・オランダ等で音楽配信売上が減少し、ドイツ、フランスでモバイル配信売上の伸長状況がスローダウンしている一方、日本だけが堅調でパッケージと音楽配信との合計が前年比100%となっています。そして、世界最大のマーケットであるアメリカは、パッケージ前年比▲23%、音楽配信前年比30%で合計▲12%という状況になっています。

## IFPI/RIAA/RIAJ技術スタッフミーティング

9月5日、東京都港区の当協会会議室において、IFPI/RIAA/RIAJ技術スタッフミーティングが開催されました。

このミーティングは、IFPI、RIAAおよびRIAJの技術部門スタッフの最新情報の交換を目的としたもので、IFPIからは、リチャード・グーチ技術部長、ジェレミー・バンクス インターネット違法対策部長、RIAAからは、ポール・ジェソップ技術最高責任者、デビッド・ヒューズ技術部長が出席しました。

ミーティングでは、IFPI、RIAAから「DDEX(Digital Data Exchange)」、「GRID(Global Release Identifier)」、「ISRC(国際標準レコーディングコード)」、「Internet Anti-Piracy(インターネット上の違法対策)」がテーマに、またRIAJからは、「歴史的音盤アーカイブ」、「ISRC」、「インターネットおよびモバイル(携帯端末)上の違法対策」をテーマとして、情報交換および意見交換が活発に行われました。

今後も3団体の情報交換を継続的に行うことを確認し、今回のスタッフミーティングを終了しました。

## 文化芸術推進フォーラム連続セミナー開催「文化的資産を保存し後世に伝承するー歴史的音盤(SP盤)のアーカイブ」

9月4日、東京都千代田区の衆議院第一議員会館において、文化芸術推進フォーラム主催の連続セミナー「文化的資産を保存し後世に伝承する」が開催されました。



フォーラムの様子

文化芸術推進フォーラムは、文化芸術振興基本法の制定を受け、舞台芸術、音楽、映画等、文化芸術に関わる団体が、文化芸術が社会において果たすべき役割を最大限発揮していくことを目的とし、同法の理念の浸透、啓発、政策提言などの活動を行っています。

今回のセミナーでは、歴史的音盤 (SP盤) のアーカイブ化について、衆議院議員の斉藤斗志二先生、河村建夫先生、今村雅弘先生をお迎えし、当協会石坂会長、歴史的音盤アーカイブ推進協会の廣瀬代表幹事をはじめとする関係者から、事業概要やその意義などについて提言が行われました。それぞれの分野の代表達の思いのこもった発表を議員先生方はしっかりと受け止め、活発な意見が交わされました。今後の歴史的音盤アーカイブ事業を推進していくにあたり、大きな指針となる有意義なセミナーとなりました。

## コ・フェスタ グランドオープニングセレモニー開催

9月19日、東京都千代田区の東京国際フォーラムにおいて、JAPAN国際コンテンツフェスティバル(コ・フェスタ)のオープニングセレモニーが開催されました。

コ・フェスタは、ゲーム・アニメ・マンガ・放送・音楽・映画等のコンテンツ産業に関わる各種イベントが連携して開催される世界最大級のコンテンツフェスティバルです。

本セレモニーでは、日本を代表するコンテンツのトップクリエイターなどが登壇し、セレモニーを華やかに盛り上げ、後半には、久石譲氏が東京フィルハーモニー交響楽団とともに、自身作曲によるコ・フェスタのテーマ曲を披露しました。

本フェスティバルは、日本発のコンテンツがお互いに影響しあいながら、新たな可能性を創造し、広く世界にアピールすることを目指し、東京国際映画祭が終了する10月28日までの40日間、「JAPANブランド」を世界に発信していきます。

## ~sarah、広報活動「私的な話。」ポスターリニューアル~

(社)私的録音補償金管理協会(sarah)では、一昨年から展開中の広報活動「私的な話。」のポスターをリニューアルしました。広報内容は下記URLをご参照ください。  
<http://www.sarah.or.jp/>



## ACA、知的財産保護のための広報啓発ポスター製作

不正商品対策協議会(ACA)は、知的財産権の保護と不正商品の排除を目的とした広報啓発ポスター「Don't buy COPY GOODS.」を製作しました。

本ポスターは、全国の警察署や交番など1,600カ所に配布し、「偽ブランドや海賊版を購入しない」よう訴えかけていきます。



## 会員社のお知らせ

### ■入会(10月1日付)

社名: 株式会社ビーイング(正会員)

代表: 代表取締役 升田敏則

住所: 〒106-0032 東京都港区六本木5-2-2

TEL: 03-5411-8411 FAX: 03-5411-8160

### ■退会(9月30日付)

社名: 株式会社ビーグラムレコーズ(正会員)

### ■住所変更

社名: 株式会社プライエイドレコーズ(準会員)

住所: 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-9-6

渋谷IBSビル3F

TEL: 03-6418-6029 FAX: 03-6418-6014

## ● 2007年9月会議メモ

- 9・5 マーケティング委員会
- 9・10 レコード倫理審査会
- 9・11 法制委員会
- 9・13 広報委員会
- 9・14 情報・技術委員会
- 9・20 アジア音楽市場拡大委員会
- 9・21 執行委員会
- 9・27 私的録音委員会
- 9・28 理事会



8月1日付で賛助会員から準会員になりましたクエイクホールディングス(株)の加藤和宏代表取締役より挨拶文が寄せられました。

## 入会のご挨拶

### QUAKE HOLDINGS INC.

弊社は洋楽主体のレコード会社で、TRANCEというジャンルの権利を多く保有しております。きっかけとなったのは2003年に私が出演した日本テレビ様の「マネーの虎」という番組でマネー成立した事です。その後、弊社のアーティストである「CASCADA」が(株)ポニーキャニオン洋楽部の高橋裕二様の目に留まり、それをきっかけにして(株)ポニーキャニオン様に弊社商品を受託していただけるはこびとなりました。弊社は現在9名で構成されており、また社員の平均年齢が28歳程度と非常に若く、元レコードショップの店長、ダンスクラブのオーナー、マネージャー、DJという異色の経歴を持ち、食費を削ってもレコードを買うような「音楽バカ」で構成されている会社です。2005年頭までは私と妻の2名しかいない会社

でした。その後TRANCEブームによって急成長し資金を獲得して、さらにHOUSE MUSICやREGGAE、HIP HOP等、他ジャンルのリリースや、SEEDAやTiara等の邦楽のリリースも開始し、暗中模索しながら努力しております。この度、めでたく日本レコード協会様に加盟させていただきましたが、先輩たちのご指導の下、一生懸命勉強させていただき、日本の音楽業界のさらなる発展の為に協力できればと思っております。音楽配信が大きな伸びを見せていたり、音楽を聴く為のフォーマットが日々変化している世の中ですが、音楽を売る事よりも音楽ファン作りを第一に考えて精進してまいります。

URL <http://9819.jp>

クエイクホールディングス株式会社  
代表取締役 加藤和宏

## 「レコードファン感謝祭2007 ～廃盤CDディスカウントセール～」開催概要

当協会加盟31社は、今年もインターネットを利用した通信販売による「レコードファン感謝祭2007 ～廃盤CDディスカウントセール～」を開催します。

この廃盤セールは、音楽・レコードファンの皆さまへ日ごろの感謝の気持ちを込めて当協会加盟のレコード会社各社から各社のレコードを特別価格にてご提供させていただくもので、1992年から毎年実施しています。毎年多くの音楽ファンの皆さまからご好評をいただいております、おかげさまで今年で16年目を迎えました。

2000年までは、東京の特設会場にて2日間みの開催でしたが、2001年から、全国の音楽ファンの皆さまからのご期待にお応えするべく、インターネットを利用した通信販売の形にて実施しています。さらに、2004年からは年2回の開催としました。



### ■ 開催日程：第1回 2007年10月26日(金)午後3時～11月9日(金)午後3時

※9月28日(金)から告知サイト開始、10月10日(水)から事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。商品のご注文は、10月26日(金)午後3時から開始します(先着順)。

### 第2回 2008年1月25日(金)午後3時～2月8日(金)午後3時

※第1回目終了後の2007年11月9日(金)から告知サイト開始、1月9日(水)から事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。商品のご注文は、1月25日(金)午後3時から開始します(先着順)。

■ 主催：(社)日本レコード協会加盟メーカー31社

■ 協賛：(社)日本レコード協会

■ 運営：(株)ジャパン ミュージック データ

■ 出品：CD(8・12cm)、カセットテープ、アナログディスク、LD、DVD、ビデオカセット

## 2007年8月度レコード生産実績

8月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、オーディオレコード、音楽ビデオともに、邦楽が好調で、数量で前年同月比102%の2,532万枚・巻、金額で同110%の307億円と、いずれも前年同月比を上回りました。

このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比101%の2,194万枚・巻、金額で同109%の263億円となり、また、音楽ビデオは、数量で前年同月比112%の338万枚・巻、金額で同113%の44億円となりました。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	8月実績						2007年1月～2007年8月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シングル	邦	19	0	5%	13	0	10%	171	0	16%	87	0	32%
	洋	0	0	0%	0	0	3%	113	0	119%	21	0	79%
	計	20	0	4%	13	0	10%	284	0	24%	107	0	36%
12cmCD	邦	6,050	28	137%	4,641	18	142%	41,863	24	92%	31,528	15	90%
	洋	68	0	105%	38	0	82%	371	0	112%	226	0	96%
	計	6,118	28	137%	4,679	18	141%	42,234	24	92%	31,755	15	90%
小計	邦	6,069	28	125%	4,654	18	137%	42,034	24	90%	31,615	15	90%
	洋	68	0	69%	38	0	78%	484	0	114%	247	0	94%
	計	6,138	28	124%	4,692	18	136%	42,518	24	90%	31,862	15	90%
12cmCDアルバム	邦	10,711	49	112%	15,482	59	124%	86,039	49	96%	123,921	59	99%
	洋	4,622	21	69%	5,738	22	75%	41,183	24	80%	50,170	24	87%
	計	15,333	70	94%	21,220	81	105%	127,221	73	91%	174,090	83	95%
CD合計	邦	16,781	77	116%	20,136	76	127%	128,072	74	94%	155,536	74	97%
	洋	4,690	21	69%	5,776	22	75%	41,667	24	81%	50,416	24	87%
	計	21,470	98	101%	25,912	98	110%	169,739	98	90%	205,952	98	94%
アナログディスク	邦	21	0	363%	22	0	356%	117	0	118%	164	0	141%
	洋	3	0	13%	3	0	6%	68	0	101%	134	0	112%
	計	24	0	83%	25	0	41%	185	0	111%	299	0	126%
カセットテープ	邦	406	2	87%	342	1	90%	3,745	2	83%	2,910	1	79%
	洋	0	0	0%	0	0	0%	1	0	21%	1	0	21%
	計	406	2	87%	342	1	90%	3,747	2	83%	2,911	1	79%
その他	邦	18	0	40%	19	0	57%	212	0	143%	390	0	123%
	洋	17	0	177%	35	0	189%	153	0	175%	294	0	178%
	計	35	0	64%	54	0	104%	364	0	155%	684	0	141%
合計	邦	17,225	79	115%	20,520	78	126%	132,146	76	94%	159,000	76	96%
	洋	4,709	21	69%	5,814	22	75%	41,889	24	81%	50,845	24	87%
	計	21,935	100	101%	26,334	100	109%	174,035	100	90%	209,845	100	94%

### ● 音楽ビデオ

	8月実績						2007年1月～2007年8月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	3,125	92	120%	3,979	91	124%	29,354	91	111%	29,746	87	105%
	洋	250	7	63%	382	9	63%	2,668	8	88%	3,915	12	82%
	計	3,374	100	113%	4,361	99	114%	32,022	99	109%	33,661	99	102%
テープ・LDその他	7	0	22%	23	1	47%	250	1	54%	345	1	51%	
合計	邦	3,132	93	119%	4,002	91	122%	29,510	91	110%	30,061	88	104%
	洋	250	7	63%	382	9	63%	2,762	9	91%	3,945	12	83%
	計	3,381	100	112%	4,384	100	113%	32,272	100	108%	34,006	100	101%

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	8月実績						2007年1月～2007年8月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	21,935	87	101%	26,334	86	109%	174,035	84	90%	209,845	86	94%
音楽ビデオ	3,381	13	112%	4,384	14	113%	32,272	16	108%	34,006	14	101%
合計	25,316	100	102%	30,718	100	110%	206,307	100	93%	243,852	100	95%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

	8月実績						2007年1月～2007年8月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	6,430	99	110%	12,165	99	121%	61,372	99	93%	109,264	99	100%
テープ・LDその他	56	1	59%	63	1	37%	780	1	65%	925	1	40%
合計	6,486	100	109%	12,228	100	119%	62,152	100	93%	110,189	100	99%

### ● オーディオ/ビデオ合計

	8月実績						2007年1月～2007年8月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	21,935	77	101%	26,334	68	109%	174,035	74	90%	209,845	66	94%
ビデオ	6,486	23	109%	12,228	32	119%	62,152	26	93%	110,189	34	99%
合計	28,420	100	103%	38,562	100	112%	236,187	100	91%	320,035	100	96%

備考 1. 上記実績は、会員会社「47社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 音楽ソフト

### 邦楽

#### アルバム

● <b>ミリオン</b> Golden Best ~15th Anniversary~	ZARD	2006.10.25	BG
● <b>トリプル・プラチナ</b> CAN'T BUY MY LOVE	YUI	2007.04.04	SR
● <b>ダブル・プラチナ</b> R35 Sweet J-Ballads ORANGE RANGE 39 ケツノボリス5 グレイテスト・ヒッツ	ヴァリアス・アーティストズ ORANGE RANGE ORANGE RANGE KinKi Kids ケツメイシ スキマスイッチ	2007.04.25 2007.07.25 2007.07.25 2007.07.18 2007.08.29 2007.08.01	WJ SR SR JE TF BMG
● <b>プラチナ</b> VOCALIST 3 ボルノグラフィティ	徳永英明 ボルノグラフィティ	2007.08.15 2007.08.29	UM SE
● <b>ゴールド</b> ユライ花 情熱大陸—葉加瀬太郎SELECTION— Soffio di vento Best of IZUMI SAKAI selection Brezza di mare dedicated to IZUMI SAKAI SAMURAI THE BEST OF FB Laid Back	中孝介 オムニバス ZARD ZARD タッキー&翼 FIRE BALL Micro of Def Tech	2007.07.11 2002.03.06 2007.08.15 2007.08.15 2007.08.08 2007.07.25 2007.08.08	ES SI BG BG AMI EMI UM

#### シングル

● <b>ミリオン</b> 千の風になって	秋川雅史	2006.05.24	TE
● <b>プラチナ</b> Happiness Beautiful World/Kiss & Cry 永遠の翼	嵐 宇多田ヒカル B'z	2007.09.05 2007.08.29 2007.05.09	JA EMI BM
● <b>ゴールド</b> Lifetime Respect 一女編— 星のない世界/横顔 ALONES 時の描片 〜トキノカケラ〜/24karats -type EX- こころ 風の詩を聴かせて 群青 本日、未熟者/Over Drive LIFE Answer MY HEART DRAWS A DREAM 熱帯夜	RSP aiko Aqua Timez EXILE 小田和正 桑田佳祐 スピッツ TOKIO 中島美嘉 FLOW L'Arc〜en〜Ciel RIP SLYME	2007.08.08 2007.08.22 2007.08.01 2007.08.29 2007.08.15 2007.08.22 2007.08.01 2007.08.15 2007.08.22 2007.08.01 2007.08.15 2007.08.01 2007.08.29 2007.07.25	SR PC ES AMI BMG V UM UM AI KS KS WJ

#### ビデオ

● <b>ゴールド</b> Never Ending Wonderful Story	NEWS	2007.08.08	JE
---	------	------------	----

### 洋楽

#### アルバム

● <b>ダブル・プラチナ</b> ステイディアム・アーケイディアム	レッド・ホット・チリ・ペッパーズ	2006.05.10	WJ
● <b>プラチナ</b> イット・ウォント・ビー・スーン・ビフォー・ロング	マルーン5	2007.05.16	UM
● <b>ゴールド</b> Guilty Pleasures	ALLiSTER	2006.11.29	DD

### 認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた(R)、着うたフル(R)、パソコンダウンロード・シングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上

以降、100万毎に賞を設定

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)  
※着うた(R)のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/  
AMI:エイベックス・マーケティング/BG:ビーグラムレコーズ/  
BM:バーミリオンレコード/BMG:BMG JAPAN/  
C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DD:フライドライス/バウンディ/DF:デフスターレコーズ/DRM:ドリーミュージック/EMI:EMIミュージック・ジャパン/EP:アップフロントワークス(ゼティマレベル)/ES:EPICレコードジャパン/FK:ファイブエンタテインメント/FL:フォーライフミュージックエンタテインメント/GN:ジェネオン エンタテインメント/GZ:ギザ/HSE:DOMINO RECORDING CO/HOST-ESS/HY:東屋慶名建設/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテインメント/JK:ユナイテッド・アジアエンタテインメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/ON:ビー・ヴィジョン/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/PZ:ビザ・オブ・デス・レコーズ/QQ:パームビーチ/RR:ロードランナー・ジャパン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SM:ミュージックレイン/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/SV:アニプレックス/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー

※日付は発売日

## 有料音楽配信(「着うた(R)」他)

### 「着うた(R)」

#### 邦楽

● <b>2ミリオン</b> 愛唄	GREEEEN	2007.04.04	UM
● <b>ミリオン</b> Jewelry day	絢香	2007.04.25	WJ
● <b>トリプル・プラチナ</b> 決意の朝に 千の夜をこえて DANCE2 feat. ソイソース イケナイ太陽 CHE.R.R.Y	Aqua Timez Aqua Timez ORANGE RANGE ORANGE RANGE YUI	2006.06.22 2006.11.01 2006.11.15 2007.07.03 2007.03.07	ES ES SR SR SR
● <b>ダブル・プラチナ</b> Lifetime Respect 一女編— Dream Lover	RSP INFINITY 16 welcomez 湘南乃風, MINMI, MOOMIN	2007.07.18 2007.03.25	SR UM
PEACH SAYONARA LIFE glitter サンキュー!! 熱帯夜	大塚 愛 ORANGE RANGE 中島美嘉 浜崎あゆみ HOME MADE 家族 RIP SLYME	2007.07.03 2006.10.15 2007.07.07 2007.07.18 2005.01.04 2007.06.20	AMI SR AI AMI KS WJ

#### 洋楽

● <b>ダブル・プラチナ</b> サヴァイヴァー SO SICK ピコーズ・オブ・ユー クレイジー・イン・ラヴ(フィーチャリング Jay-Z)	デスティニーズ・チャイルド Ne-Yo Ne-Yo ビヨンセ	2002.11.29 2006.03.01 2007.02.28 2003.07.16	SI UM UM SI
--	---	--	----------------------

### 「着うたフル(R)」

#### 邦楽

● <b>プラチナ</b> Lifetime Respect 一女編— This Love PEACH イケナイ太陽 熱帯夜	RSP アンジェラ・アキ 大塚 愛 ORANGE RANGE RIP SLYME	2007.08.08 2006.05.31 2007.07.03 2007.07.18 2007.07.25	SR ES AMI SR WJ
● <b>ゴールド</b> ALONES くればしいのに feat. 草野マサムネ from SPITZ 旅人 壊れかけのRadio やさしいキスをして LIFE LIFE (ballad) 友達の子 鳥人ぬ宝(しまんちゅぬたから) Answer 空はまるで	Aqua Timez KREVA 高杉さと美 徳永英明 DREAMS COME TRUE 中島美嘉 中島美嘉 中村 中 BEGIN FLOW MONKEY MAJIK	2007.08.01 2007.06.20 2007.06.06 2005.11.09 2006.10.25 2007.08.22 2007.08.01 2006.08.23 2006.03.15 2007.08.01 2007.07.25	ES PC AMI UM UM AI AI AMI TE KS AMI

#### 洋楽

● <b>ゴールド</b> ユー・レイズ・ミー・アップ	ケルティック・ウーマン	2006.02.24	EMI
--------------------------------	-------------	------------	-----

### PC配信(シングル)

#### 邦楽

● <b>ゴールド</b> 愛唄	GREEEEN	2007.05.16	UM
---------------------	---------	------------	----

※日付は配信開始日

## 協会からのお知らせ

INFOMATION SQUAREでもお知らせしましたが、今年も「レコードファン感謝祭2007～廃盤CDディスカウントセール～」を開催します。この廃盤セールは、音楽・レコードファンの皆さまへの日ごろの感謝の気持ちを込めて、当協会加盟のレコード会社各社から各社のレコードを特別価格にてご提供させていただいているものです。詳しくは、12頁をご覧ください。



 **携帯音楽を守りたい**  
違法な音楽ファイルの利用はやめましょう

<http://www.mamo-on.jp>



**THE RECORD No.575** 2007年10月号

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一  
編集人 田辺 攻  
発行日 2007年10月10日  
発行 社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

### 編集後記

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、皆さまはどんな秋をお過ごしでしょうか？涼しくなるにつれて、心も体も活動的になりワクワクしてきます。例年食欲ばかりに特化してしまいましたが、コ・フェスタに便乗して今年は、音楽、映画、舞台など文化を楽しみ、自分の幅を広げていけたらと思っています。

(T)